

北名古屋市
中学校部活動地域展開推進計画

令和8年6月
北名古屋市教育委員会

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 本市の現状・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 少子化の進展	
(2) 令和7年度の中学校部活動の活動実態・加入状況と実証事業	
(3) 意識アンケート	
2 本市の中学校部活動地域展開の現状・・・・・・・・	4
(1) 中学校部活動	
(2) 地域クラブ活動	
3 本市の中学校部活動地域展開の目標と方針・・・・・・・・	6
(1) 目標	
(2) 方針	
(3) 取組	
(4) 連携する団体	
4 本市の中学校部活動地域展開のスケジュール・・・・・・・・	7
(1) 地域展開の概要	
(2) 令和8年度以降の中学校部活動改革	
5 その他・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(1) 生徒・保護者・地域住民への情報提供	
(2) 本推進計画の改定	

- 【参考資料】
- 生徒の意識アンケート
 - 保護者の意識アンケート
 - 教師の意識アンケート

はじめに

文部科学省は、中学校部活動の地域展開をさらに進めるため、令和7年12月に「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定し、令和8年度からの6年間を改革実行期間と位置付けるとともに、新たに地域クラブ活動を認定することにより、その質の確保を図ることを示した。なお、地域クラブ活動の認定に当たっての留意事項として、市区町村等に対し、平日・休日等を通した活動を包括的に企画・調整した上で、部活動の地域展開の方針を示す推進計画等の策定を求めている。

このことを受け、北名古屋市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、市内中学校部活動の現状やこれまで進めてきた取組において捉えた課題を整理し、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させていくために、目指す目標と方針などを示す「北名古屋市中学校部活動地域展開推進計画」を策定しました。

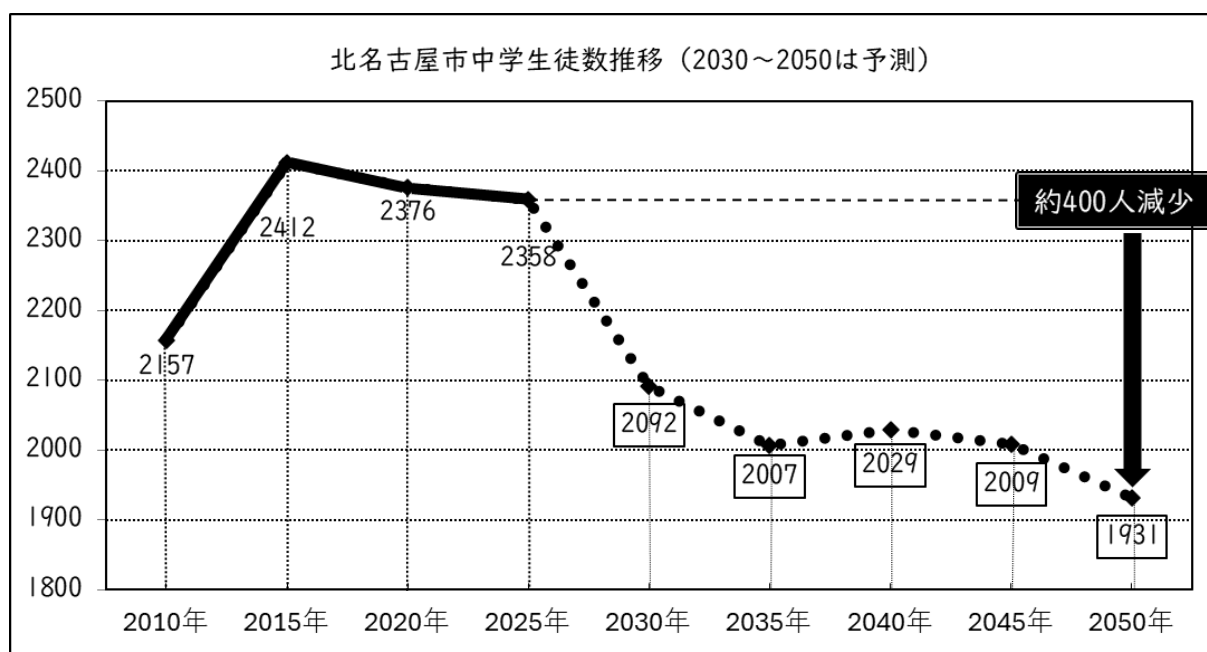
併せて、改革実行期間における部活動改革及び地域クラブ活動の推進に関して、教育委員会として基本的な考え方や具体的な取組方針等を示す「北名古屋市部活動及び地域クラブ活動に関するガイドライン」を別に策定しました。

I 本市の現状

(I) 少子化の進展

少子化の進展により、本市においても最新の予想人口構成をみると、25年後(2050年)には現在より約400人の生徒が減少することが予想されている。生徒が減った学校では、サッカーや野球など多人数で行う種目の活動が難しくなり、また、生徒の減少に伴う教員の減少により、部活動の顧問が配置できなくなるなど、部活動の減少、活動低下を招くことが予想される。このようなことから、部活動は生徒にとってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ場ではなくなりつつある。

今後も更なる少子化の進展が予想される中、中学校の部活動をこれまでと同じ体制で運営していくことは困難である。しかし、単に部活動の運営をそのまま地域に展開するだけでは、参加者や指導者が確保できないといった課題は解決できない。そのため、部活動の枠にとらわれない、持続可能な新しい体制の構築が求められている。



(2) 令和7年度の中学校部活動の活動実態・加入状況と実証事業

	部活動名	師勝中	西春中	白木中	訓原中	熊野中	天神中	令和7年度実証事業	
								団体数	活動場所
1	野球	35	15	16	28	25	26	➡ 1	白木中
2	ソフトボール	19	-	11	-	-	-	-	-
3	サッカー	51	19	24	42	26	44	➡ 1	訓原中 天神中
4	バスケットボール(男)	40	-	28	-	23	-	➡ 2	白木中 民間施設
5	バスケットボール(女)	35	21	22	21	22	21		
6	バレーボール(男)	43	26	-	-	27	-	-	-
7	バレーボール(女)	39	22	-	-	28	-		
8	卓球(男)	34	-	23	40	20	25	➡ 2	師勝中 天神中
9	卓球(女)	26	16	-	20	-	25		
10	ソフトテニス(男)	-	34	37	-	-	39	➡ 1	熊野中
11	ソフトテニス(女)	47	-	46	37	28	26		
12	剣道	-	-	-	27	15	-	➡ 2	総合体育館 訓原中
13	吹奏楽	46	48	46	40	55	37	➡ 2	師勝中 西春中
14	囲碁・将棋	30	-	26	-	-	-	➡ 1	師勝中
15	美術	36	29	-	29	23	35	-	-
16	家庭科	32	-	25	-	14	-	-	-
17	文化環境	-	31	-	-	-	-	-	-
18	パソコン	-	-	-	28	-	-	-	-
19	I C T	-	-	-	-	41	-	-	-

(3) 意識アンケート

教育委員会では、部活動の地域クラブ活動展開へのニーズを把握するため、令和8年2月に、生徒・保護者・教員を対象者として意識アンケート調査を実施した。

【参考資料参照】

2 本市の中学校部活動地域展開の現状

(1) 中学校部活動

ア 土日の活動

月2回とし、活動日は第1・3・5土日のいずれかとする。

イ 平日の活動

週3回

(2) 地域クラブ活動

活動日は第2・4土日とする。

ア 活動団体について

学校での部活動の回数を減らした分、地域スポーツ・文化芸術団体を母体とした地域での活動機会の確保を模索した結果、中学校部活動地域展開に係る活動団体を「実証事業」として公募する方法で進めた。これは、市内中学生の多様なニーズに合った活動機会を確保するため、地域でスポーツ・文化芸術活動の機会を提供する団体から広く企画・提案を募集した。持続可能な活動とする観点から市の補助金は設けず、各団体が会費を徴収して運営する仕組みとした。各団体が使用する施設については、教育委員会が優先的に提供し使用料を徴収しないこととした。

なお、生徒の募集方法については、各団体がチラシを作成し、そのチラシを学校を通じてICTを活用して該当生徒に提供し、生徒自身がその団体に直接申し込むこととした。

イ 令和8年度中学校部活動地域展開実証事業活動団体

No.	団体名	活動日	活動時間	活動場所	対象校	会費等
1	軟式野球クラブ (軟式野球)	毎月1～2回日曜	9:00～12:00	白木中	全中学校	年会費1500円+スポーツ保険代800円
2	一般社団法人 AVANCO (サッカー)	毎月第2,4土曜	8:30～11:00	訓原中 天神中	全中学校	1回1000円+スポーツ保険代を含む入会金2000円
3	きたなごやジュニアス ポーツクラブ (バスケットボール)	毎月第2,4日曜	8:30～11:30	白木中	全中学校	1回500円+スポーツ保険代800円
4	スタジオオルカバスケットボールクラブ (バスケットボール)	毎月3回 男子：月曜	19:00～21:00	スタジオ オルカ	全中学校	月会費1980円+スポーツ保険代1000円
5	北名古屋バスケットボールクラブ (バスケットボール)	毎月第2,4土曜	9:00～12:00	師勝中	全中学校	年会費5000円+スポーツ保険代800円
6	Spice Up -VB (北名古屋市バレーボール応援G)	毎月第2,4土曜	9:00～12:00	西春中	全中学校	3ヶ月会費3000円+スポーツ保険代を含む入会金2000円
7	中学生卓球クラブ (卓球)	毎週月、木曜 毎月第2,4土日曜	平日18:00～20:00 土曜9:00～12:00 日曜13:00～16:00	天神中	西地区の中学校	月会費1000円+スポーツ保険代800円
8	中学生SKK卓球クラブ (卓球)	毎月第2,4土日曜	9:00～12:00	師勝中	東地区の中学校	1回500円、スポーツ保険代を含む年会費1800円
9	北名古屋ソフトテニスクラブ (ソフトテニス)	毎月1～2回 土or日曜	10:00～12:00	熊野中	全中学校	1ヶ月会費200～300円+スポーツ保険代800円
10	東スポーツクラブ (剣道)	毎週土曜	13:15～15:00	市総合体育館	全中学校	月会費500円の年会費制+スポーツ保険代800円
11	ウインドオーケストラ (吹奏楽)	毎月2回日曜	9:00～12:00	師勝中	東地区の中学校	年会費7000円、保険代800円を含む
12	北名古屋吹奏楽団 (吹奏楽)	毎月2回 土or日曜	9:00～15:30間の 2.5時間	西春中	西地区の中学校	月会費1000円+保険代1000円

(東地区：師勝中・訓原中・熊野中、西地区：西春中・白木中・天神中)

ウ 課題とその対応方針

(7) 指導者（活動団体）の確保

- ① スポーツ協会、ふれあいスポーツクラブ、スポーツ少年団、文化芸術団体の指導者のほか、部活動指導員の活用、退職教員、教員等の兼職兼業、企業関係者、公認スポーツ指導者、競技・活動経験のある大学生・高校生や保護者などから指導者を確保する。
- ② スポーツ、文化芸術団体等の協力を得ながら指導者の発掘・把握に努め、求めに応じて指導者を紹介する市人材バンクや、県の「あいち地域クラブ活動人材バンク」を活用する。

(4) 指導者の質の向上

- ① 中学生に適切な指導を行うためには、様々な知識やスキルが必要であることから、指導者の資質向上のための研修を定期的実施する。
- ② 指導者等、参加生徒、その保護者等に対しても、その役割等に応じて、生徒の人格を傷つける暴力・暴言・ハラスメント等の不適切行為の防止や、事故防止、事故等が発生した際の現場対応等について共通理解を図る。

(ウ) 指導者への謝金の違い

- ① 愛知県最低賃金を目安とするよう各団体に働きかける。

(エ) けがやトラブルに対する備え

- ① 生徒には、公益財団法人スポーツ安全協会によるスポーツ安全保険への加入を義務付ける。
- ② 地域クラブ活動の運営団体・実施主体へ、指導者や参加する生徒に対して、自身のけが等を補償する保険や個人賠償責任保険に加入するよう促進する。

(オ) 参加生徒の確保

- ① 生徒、保護者へ、ICTを活用したチラシの配布などにより周知を図る。
- ② 学校と地域クラブ活動との適切な連携による体験活動などの機会を設け、生徒、保護者の理解を深める。

(カ) 経済的困窮世帯への支援

- ① 経済的困窮世帯の生徒の参加費等について、支援体制を構築する。

(キ) 会費の違い

- ① 地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定するよう促進する。
- ② 会費は、文部科学省が示す月4日程度の活動で、月額1,000円から4,000円程度を目安とする。

(ク) 活動団体と学校との連携

- ① 地域クラブ活動と中学校部活動との間において、活動方針や活動状況、スケジュール等の共通理解を図るとともに、関係者が日々の生徒の活動状況に関する情報共有等を綿密に行う。

(ケ) 他市町との連携

- ① 西春日井地区校長会等を通して、清須市、豊山町へ本市の取組を伝え、西春日井地区全体が連携して事業を進めていくように促進する。

3 本市の中学校部活動地域展開の目標と方針

(1) 目標

部活動は、生徒が学校という身近な場所でスポーツや文化芸術活動に触れ、競技力や技術力を向上させるとともに、達成感や連帯感を育む活動として、長年、定着してきた。しかし、少子化に伴う活動の停滞や競技経験のない教員が指導を担う状況など、これまでの仕組みが硬直化しており、抜本的な改革が必要となっている。北名古屋市では、令和6年2月に策定した『北名古屋市教育大綱』において、「学校・家庭・地域の協働による絆づくりと地域を担う人づくり」を掲げており、部活動改革を地域社会の変革のチャンスと捉え、これまで部活動が担っていた役割・機能を地域社会に移行・展開し、生徒が自分の望む活動に自分らしく取り組めるよう、地域全体におけるスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進めていく。

(2) 方針

生徒が生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるよう、多様な運営団体・実施主体による持続可能な地域クラブ活動を展開する。

(3) 取組

ア 中学校部活動に設けられている種目について

地域で活動が継続できるように、認定地域クラブ活動の充実を図る。

(ア) 認定する地域クラブの数

東地区（師勝中、訓原中、熊野中学区）及び西地区（西春中、白木中、天神中学区）に1団体ずつ設置する。

なお、参加生徒数によっては、種目別に適正数を調整する。

(イ) 活動場所

市内中学校、市内公共施設及び民間施設

(ウ) 参加対象となる生徒

北名古屋市立中学校の生徒

イ 中学校部活動に設けられていない種目について

生徒のニーズが高い種目については、「ア 中学校部活動に設けられている種目について」により、認定した地域クラブの活動場所に影響を及ぼさない範囲で、認定する活動の数と活動場所を検討し対応する。

(4) 連携する団体

スポーツ協会、ふれあいスポーツクラブ、スポーツ少年団、文化芸術団体、大学、民間事業者等において、中学生の活動機会の充実を図る取組を推進する。

4 本市の中学校部活動地域展開のスケジュール

(1) 地域展開の概要

本市において令和6・7年度に行った中学校部活動地域展開実証事業の活動団体から「地域クラブを立ち上げて生徒が集まらず活動の継続が難しい。」という意見や、「中学校部活動と地域クラブが混在する状況がいつまで続くのか。」などの意見が出された。北名古屋市中学校部活動検討委員会（以下「部活動検討委員会」という。）での協議や関係者との調整の中でも、安定的なスポーツ・文化芸術活動の環境整備と教員の働き方改革の両方を早期に推進する必要性が確認されている。そこで、令和8年2月に行われた令和7年度第2回部活動検討委員会において、令和11年9月までに土日の部活動を廃止し、全て地域クラブ活動に展開することを確認し、今後の取組を進めていくこととした。

(2) 令和8年度以降の中学校部活動改革

ア 教育職員の時間外在校等時間について

- (7) 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令の制定等について」（令和7年9月）に示された指針により、教育委員会は「教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定（令和8年2月）した。これに基づき、令和11年度末までに、1か月の時間外在校等時間が45時間以下の教職員の割合を100%以下とすること、また、1か月の時間外在校等時間を平均30時間程度に削減することを目標とした。

イ 部活動改革の方向性

〈北名古屋市中学校部活動改革ロードマップ〉

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域展開 (地域クラブ)	第2・4土日 月1～2回	9月～ 月1～4回へ		
中学校部活動 (休日)	第1・3・5 土日 月2回	9月～ 月1回へ		9月～ 廃止
年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
中学校部活動 (平日)	週3回	週3回を見直し		
年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
大会参加	春大会			
	新人戦(秋) 9年か10年まで参加			
	西春日井支所中学校体育大会(夏)			

- (7) 中学校部活動の土日の活動について
- ① 令和8年度～令和9年8月まで、中学校部活動は第1・3・5土日のうち、月2回の活動とする。
 - ② 令和9年9月～令和11年9月まで、中学校部活動は月1回の活動とする。ただし、第1・3・5土日のうち、どこで活動するかは、今後の検討課題である。
 - ③ 令和11年9月までに、土日の中学校部活動を地域クラブ活動へ完全に移行する。
- (1) 中学校部活動の平日の活動について
- ① 原則として、週3日の活動とする。
 - ② 令和8年度からは、全中学校で週1日を日課変更などのタイムマネジメントを工夫することで、勤務時間外在校時間の縮減につながる取組を進める。
 - ③ 週3回の活動を縮減していくことは、国や愛知県の動向を注視しながら今後の検討課題とする。
- (7) 大会参加について
- ① 令和9年度以降は、春の大会には参加をしない。
 - ② 秋の新人戦については、種目によって個人登録費用を納入していることもあり、令和9年度まで、または、令和10年度までの参加にするか、今後の検討課題である。
 - ③ 今後の見通しとして、夏の西春日井支所中学校体育大会（中小体連主催）のみの参加を考えていく。
 - ④ 選手の引率、大会の運営については、当面の間、教員や部活動指導員が行うものとする。

5 その他

(1) 生徒・保護者・地域住民への情報提供

中学校部活動の地域展開を進めるに当たって、中学校の生徒及び保護者に対し、従来の部活動の在り方からの変化や地域展開の目的及び理念について、適切に情報提供することが重要である。その際、教育委員会と学校が連携し、事前に教員への周知を行った上で、生徒及び保護者の理解が十分に得られるよう調整を図る。

また、中学校の生徒及び保護者だけでなく、今後、中学生となる小学校の児童及び保護者、更に地域展開の担い手となることが期待されるスポーツ・文化芸術関係団体に対しても情報提供を行い、学校と地域が一体となって取組を進められるよう調整を図る。情報提供の方法としては、チラシ等を活用する。なお、生徒・保護者・教員に対する意識アンケートを適宜実施することで、要望や意見を把握するとともに、中学校部活動の地域展開に対する理解を深める。

〈令和8年3月配付のチラシ〉

★【生徒、保護者の皆さまへ】★

中学校の土日の部活動が 変わります！

～地域とつながる、新しい活動のカタチ～

● 中学校の部活動の地域展開とは？

○ これまで【学校の先生】が中心だった土日の中学校部活動は、【地域】と連携した**地域クラブ活動**へ展開していきます。

☐ 令和8年度からのロードマップ

【土日の活動】

○ 令和9年9月から令和11年8月まで、土日の中学校部活動は**月1回**の活動とします。

○ 令和11年9月以降は、土日の中学校部活動を**廃止**し、地域クラブ活動へ完全に移行します。

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域展開 (地域クラブ)	第2・4土日 月1～2回	9月	月1～4回へ	
中学校部活動 (休日)	第1・3・5土日 月2回	9月	月1回へ	9月廃止

【平日の活動】

○ 原則として、**週3日**の活動とします。活動日の縮減は今後の検討課題です。

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
中学校部活動 (平日)	週3回	週3回を見直し		

【大会参加】

○ 令和9年度以降は、**春の大会**には参加をしません。

○ **秋の新人戦**は、令和10年度までの参加にするか、今後の検討課題です。

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
大会への参加	春大会 新人戦(秋) 9年か10年まで参加			

(裏面あり)

？ 地域クラブ活動に参加するには？

- 特別な手続きは不要！
→ 中学校から配付された**チラシ**をみて、直接申し込んでください。
- 複数団体に参加もOK！
→ 学校の部活動と**両立**もできます。
- 会費や保険代が必要！
→ 各団体が**受益者負担**で運営します。

★平日の中学校部活動はこれまで通り学校で！

👉 令和8年度の公募による地域クラブ活動の紹介！

○ **全12団体** ※今後、全ての部活動種目に拡大していく予定です。

No.	団体名	活動日	活動時間	主催	対象者	会費等
1	東スポーツクラブ (東郷)	毎週土曜	13:15～15:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(年会費制) 入会費 500円(入会費) 1回 1000円(入会費) ～3000円
2	一般社団法人 AVANCE (中津川)	毎月第2、4土曜	8:30～11:00	町教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
3	きたなでやジュニア スポーツクラブ (北三河)	毎月第2、4土曜	8:30～11:30	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
4	中学生体育クラブ (東郷)	毎週月、木曜 毎月第2、4土曜	平日 18:30～20:00 土曜 9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
5	ウェンズデー・オーケストラ (大塚)	毎月2回日曜	9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
6	北三河地区体育連盟 (大塚)	毎月2回 毎月1回	9:00～12:00 9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
7	フットボールクラブ (ソフトテニス)	毎月1～2回 毎月1回	10:00～12:00 10:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
8	ソフトボールクラブ (北三河)	毎月3回 毎月1回	19:00～21:00 19:00～21:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
9	新設部活動クラブ (東郷)	毎月1～2回日曜	9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
10	中学生 3年 卓球クラブ (東郷)	毎月第2、4土曜	9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
11	北三河地区バレーボール クラブ連盟	毎月第2、4土曜	9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円
12	バレーボールクラブ (北三河)	毎月第2、4土曜	9:00～12:00	市教育委員会 中学校	中学生	月会費 500円(入会費) ～3000円

★このチラシと同時に各団体のチラシを電子媒体で配信します。

👤 保護者の皆さまへ

地域クラブ活動は、お子さまが新たな体験にふれることで、興味の幅を広げるチャンスにもなります！安全・安心に取り組めるよう支援していますので、ぜひご利用ください。

📞 お問い合わせ先

北名古屋市教育委員会
学校教育課
☎ 0568-22-1111

📄 北名古屋市ホームページ情報発信中！

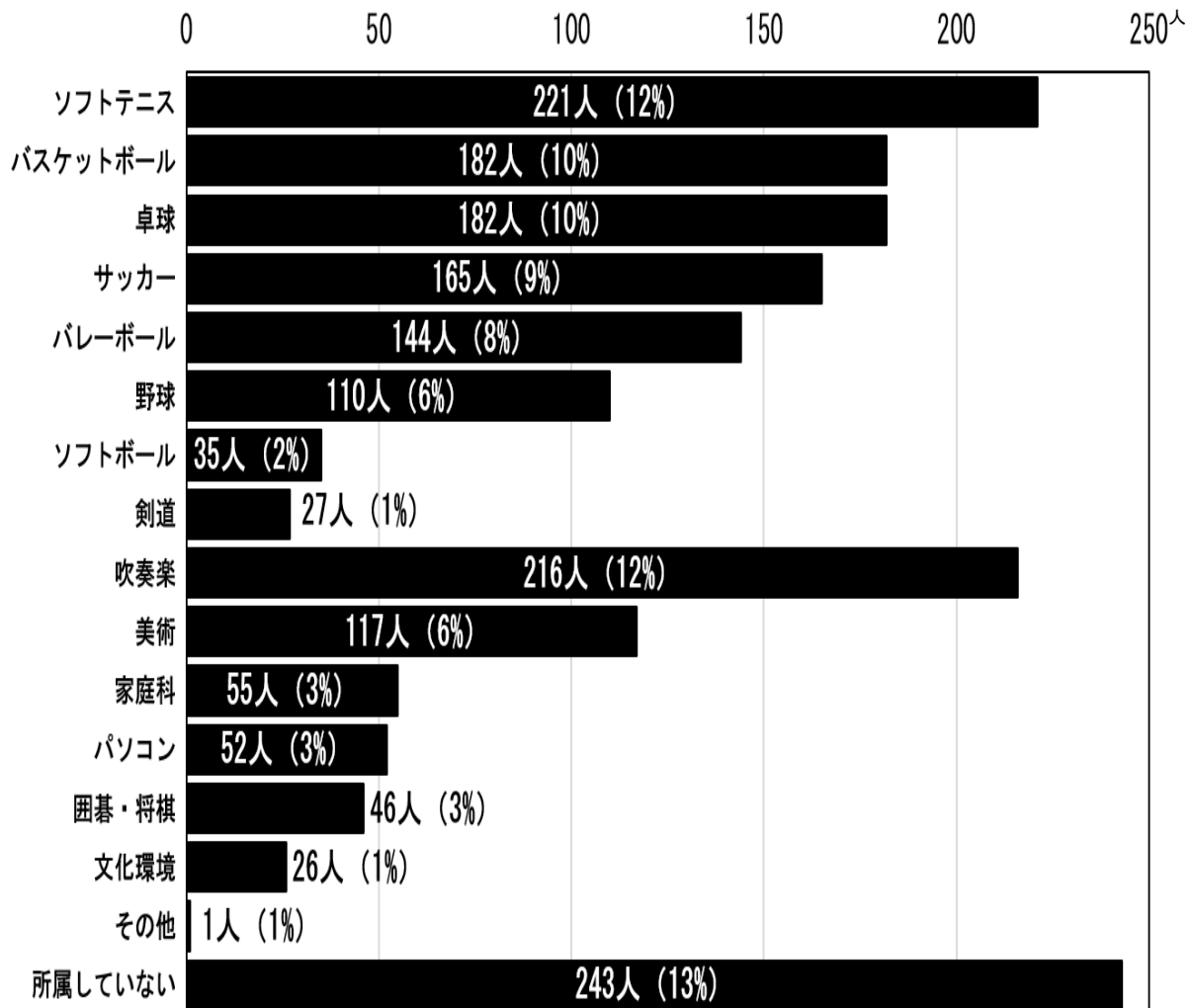
(2) 本推進計画の改定

本推進計画は、市の中学校部活動の地域展開の進捗状況や、国・愛知県の動向等も踏まえ、必要に応じて適宜改定するものとする。

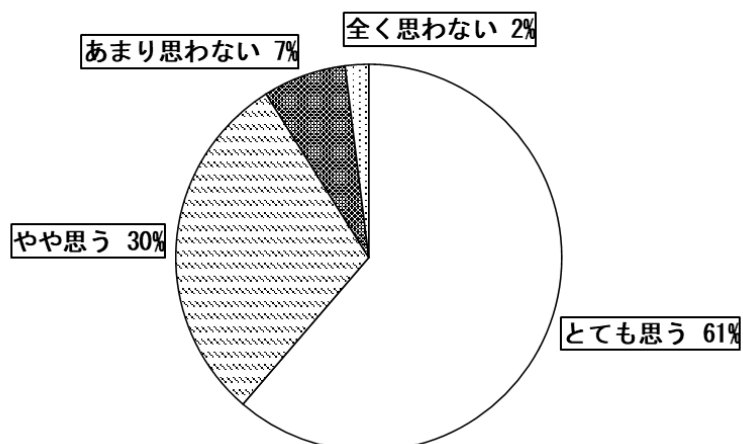
令和7年度 北名古屋市中学校部活動に関する意識アンケート結果（生徒）

（R8.2実施 回答者数 1822名、回答率 77.2%）

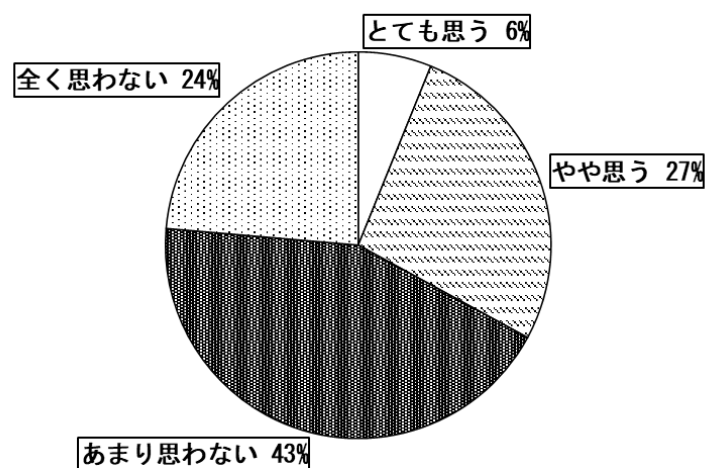
1 所属している部活動を選択してください。（中学3年生は令和6年7月に所属していた部活動）



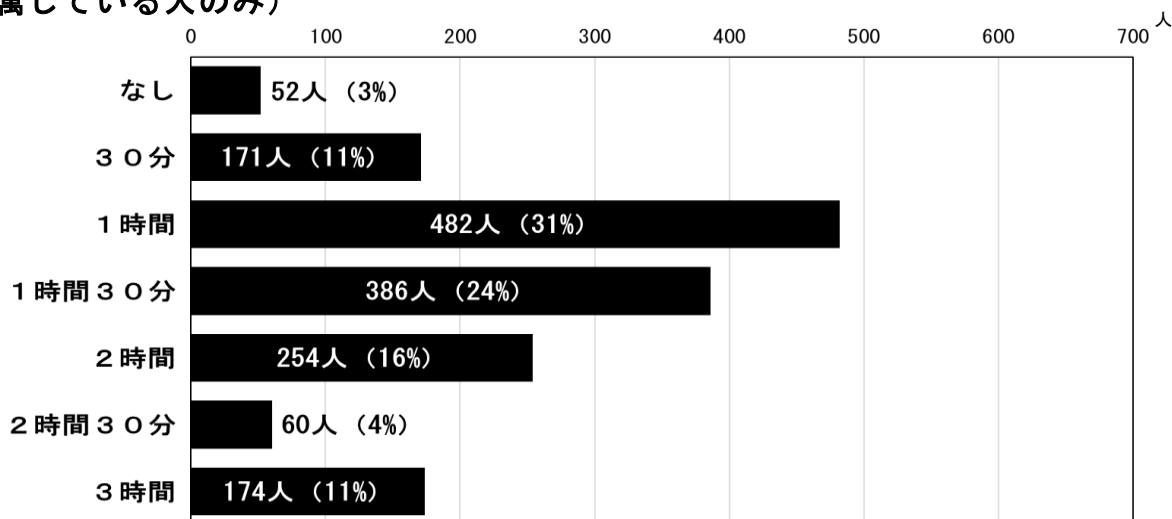
2 部活動は楽しいですか。（部活動に所属している人のみ）



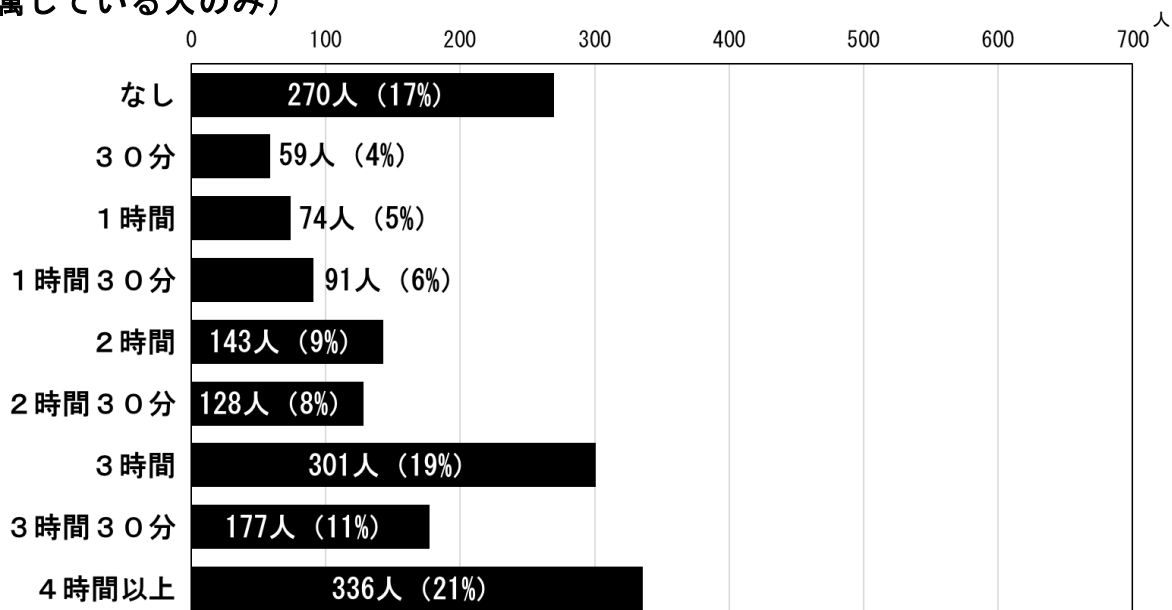
3 部活動をストレスに感じますか。(部活動に所属している人のみ)



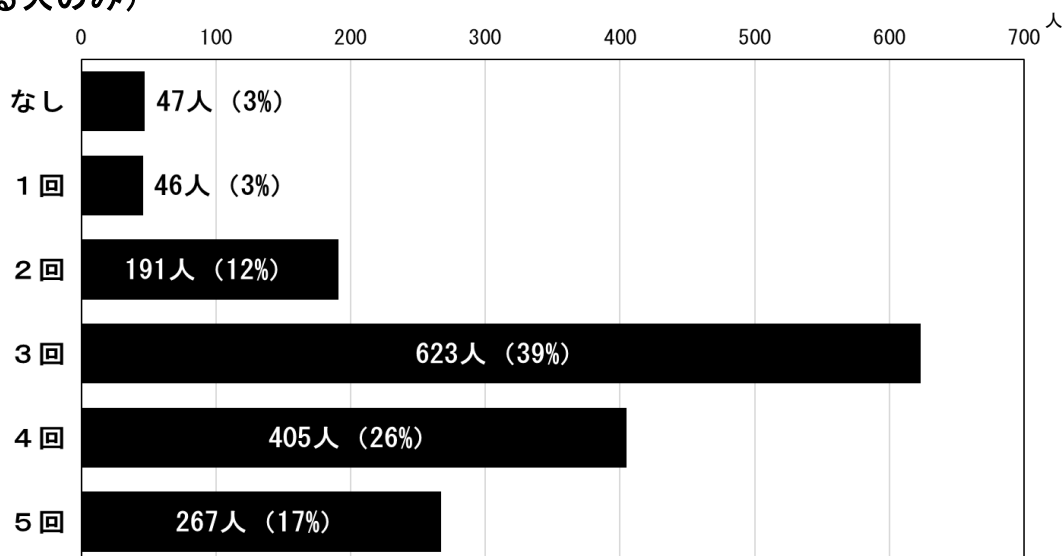
4 平日 1 回あたりの部活動の時間は、どのくらいを望みますか。(部活動に所属している人のみ)



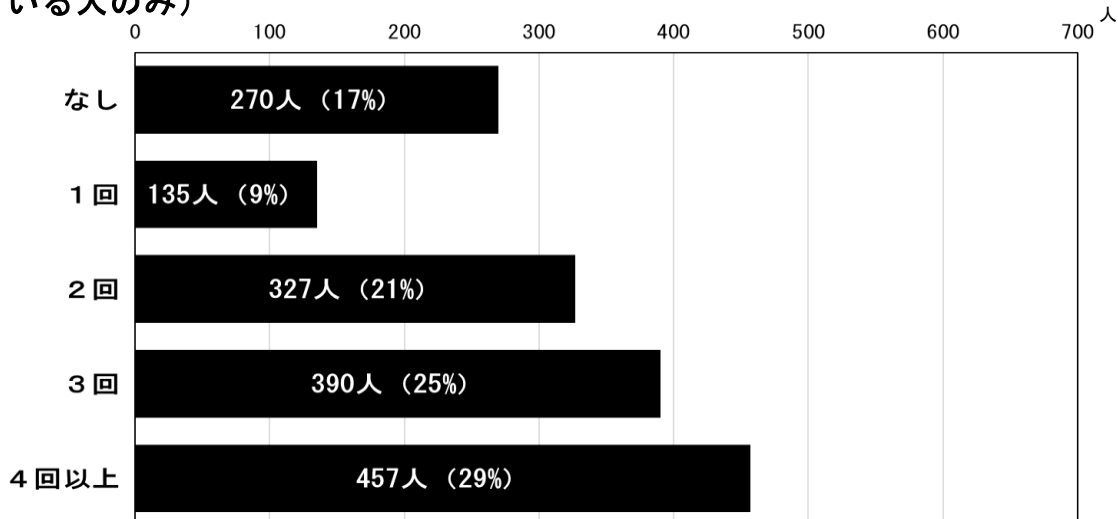
5 休日 1 回あたりの部活動の時間は、どのくらいを望みますか。(部活動に所属している人のみ)



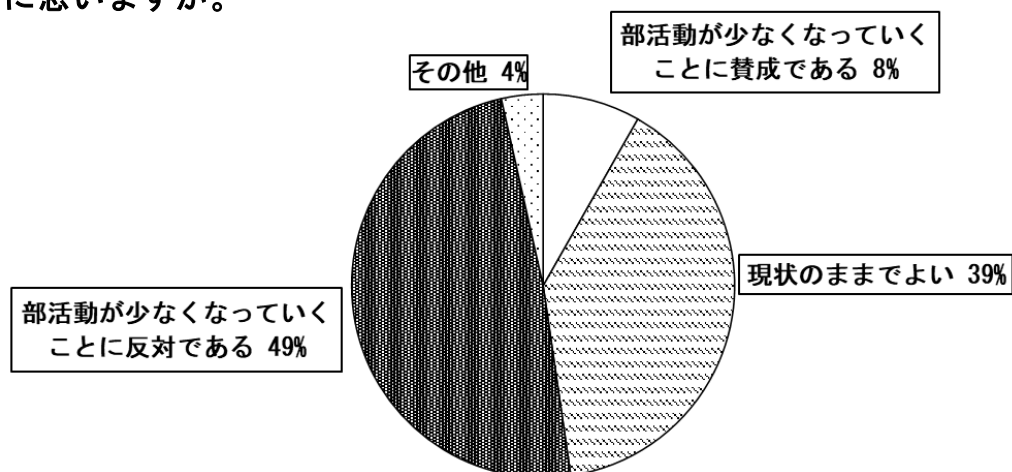
6 1週間あたりの平日の部活動は、どれくらいを望みますか。(部活動に所属している人のみ)



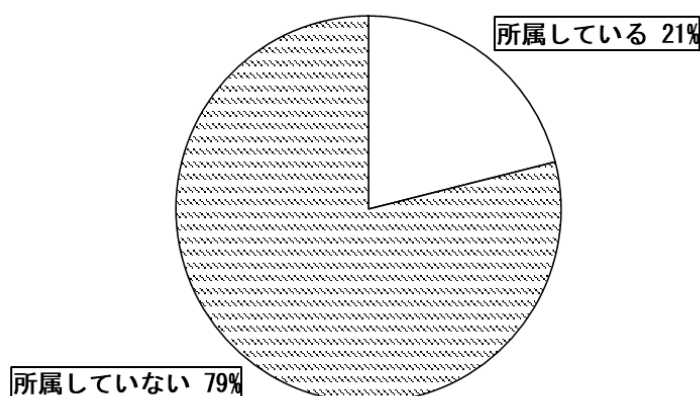
7 1ヶ月あたりの休日の部活動は、どれくらいを望みますか。(部活動に所属している人のみ)



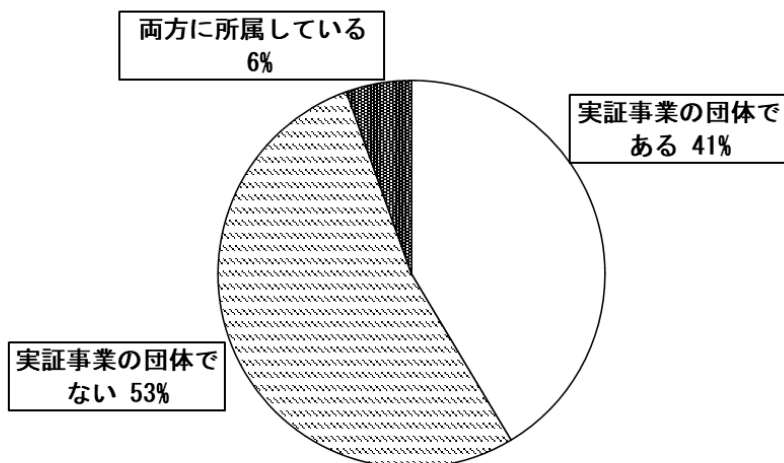
8 今後、中学校の部活動の活動日が少なくなっていくことについて、どのように思いますか。



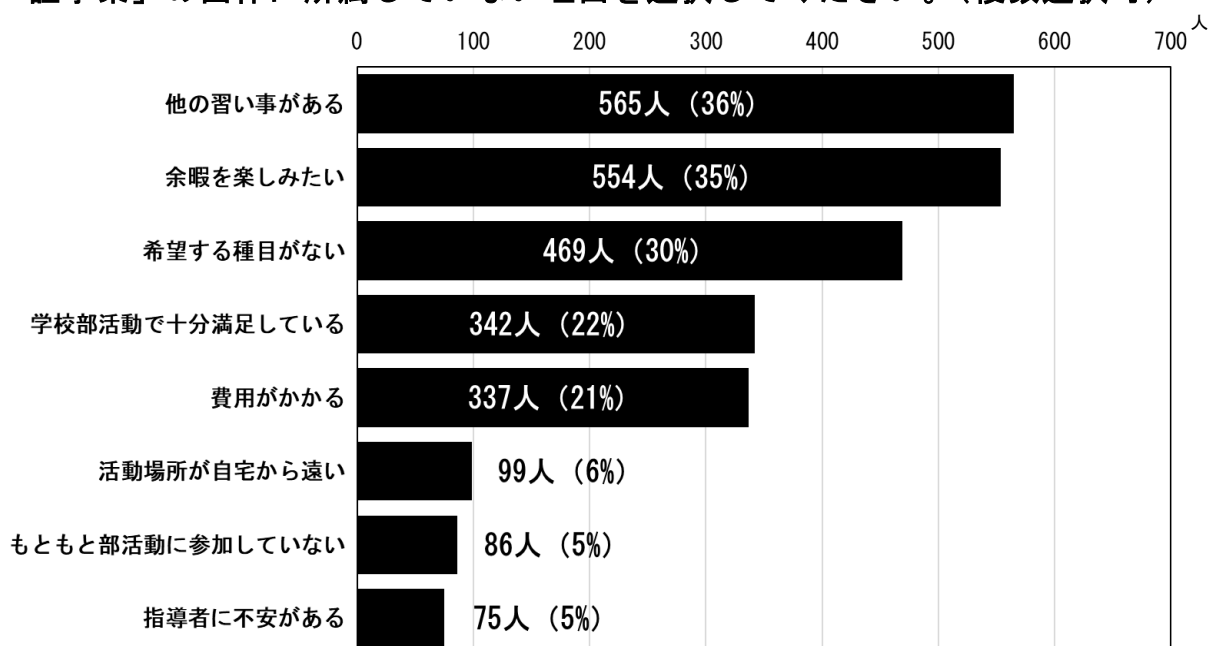
9 学校の部活動の他に、地域の運動的活動団体や文化的活動団体に所属していますか



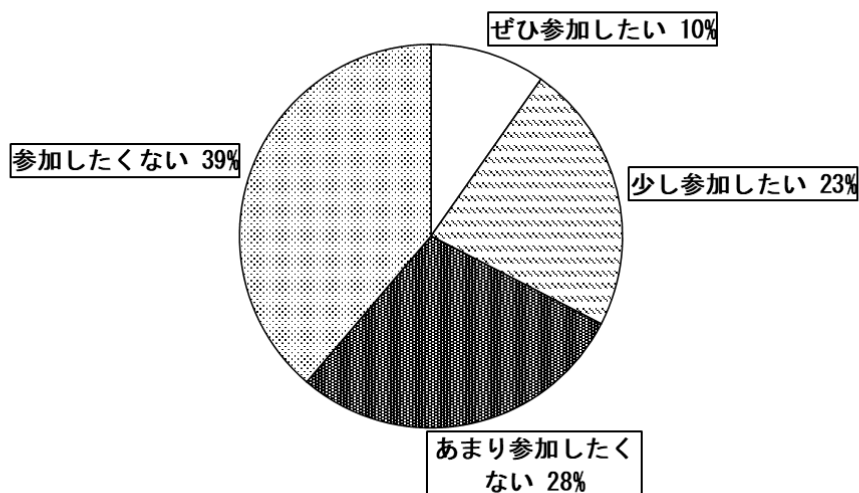
10 9で「所属している」と答えた人のみ答えてください。所属している団体は、北名古屋市教育委員会の「中学校部活動地域展開実証事業」の団体ですか。



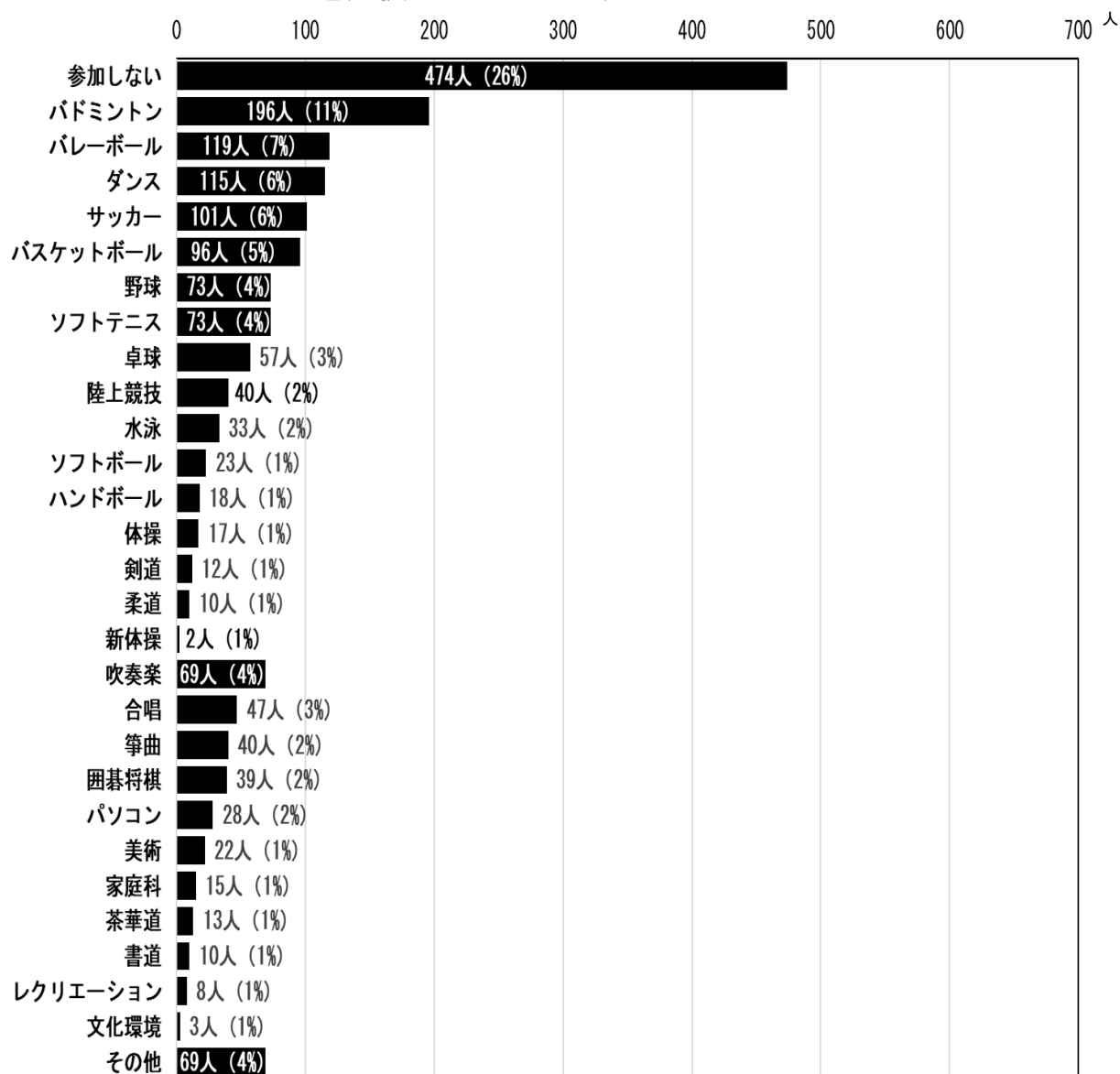
11 9で「所属していない」、または、13で「実証事業の団体でない」と答えた人のみ答えてください。北名古屋市教育委員会の「中学校部活動地域展開実証事業」の団体に所属していない理由を選択してください。（複数選択可）



12 今後、第2、4土日の地域クラブ活動に参加したいと思いますか。



13 中学校の部活動以外で、参加してみたい運動的・文化的活動は何ですか。
当てはまるもの一つを選択してください。



14 中学校部活動の地域展開について、ご意見があれば書いてください。

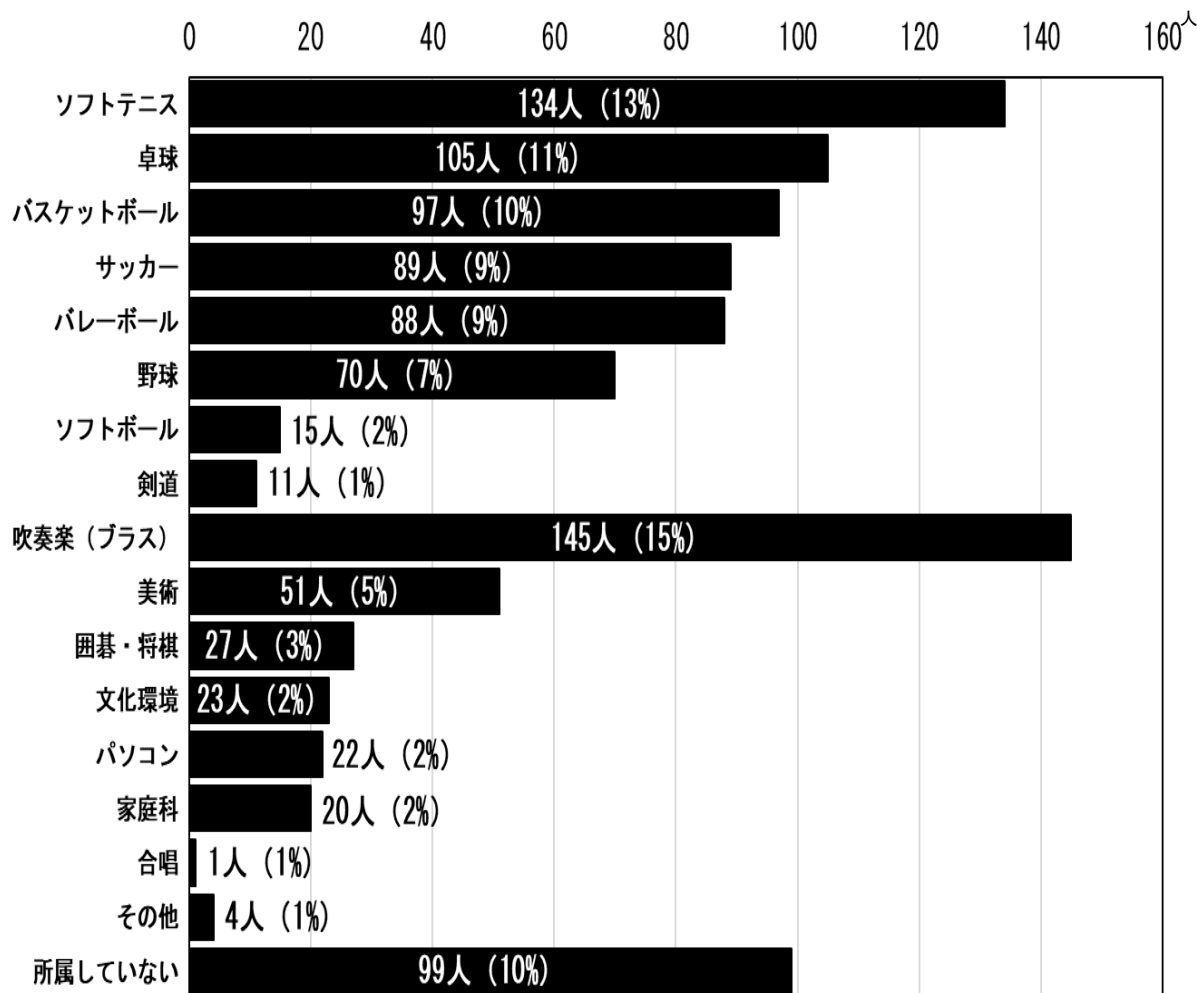
- 平日、休日の部活動の活動時間を増やしてほしい (76)
- 部活動がなくなった分、いろいろな施設が使えるとよい (11)
- このままでよい (9)
- 他にもいろいろな地域クラブを作してほしい (8)
- 活動費がなければよい (3)
- 部活動が多く、土日の活動をなくしてほしい (3)
- 時間や回数が少なすぎ、クラブチームで練習している人しか上達しない
(3)

- 平日も地域展開をしてほしい (2)
- 地域クラブの会場が家から遠い (1)
- 小学校の部活動を再開してほしい (1)
- 地域クラブの方が専門的な知識を教えてもらえて成長できると思う (1)
- 地域クラブの魅力ポイントを示したポスターを、校内に貼ってほしい (1)
- 指導者の質がもう少し高くしてほしい (1)
- 吹奏楽の地域クラブにおいて、家ではあまり地域展開の楽譜を練習できず、地域クラブに参加したくないときもある (1)
- 地域クラブでは、プライベートなことに干渉してこないのよい (1)
- 地域クラブでは、大人との関わりが増えて良い (1)
- 地域クラブの予定表がほしい (1)
- 地域クラブにより、生徒のコミュニティが広がるのはとてもよい (1)

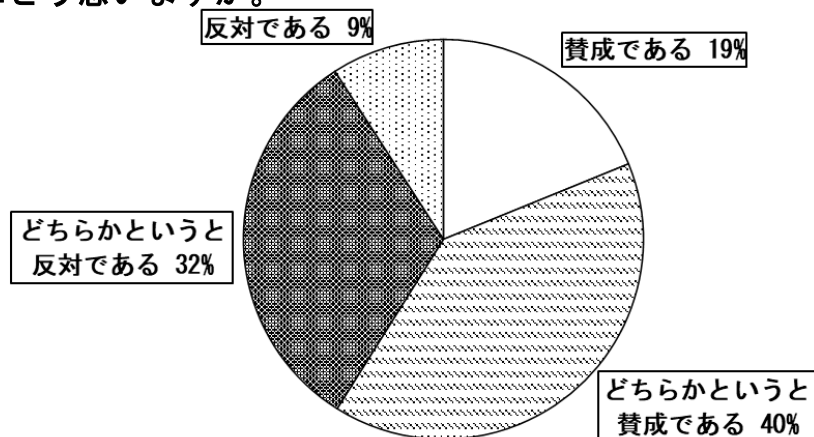
令和7年度 北名古屋市中学校部活動に関する意識アンケート結果（保護者）

（R8.2実施 回答者数 998名、回答率 51.6%）

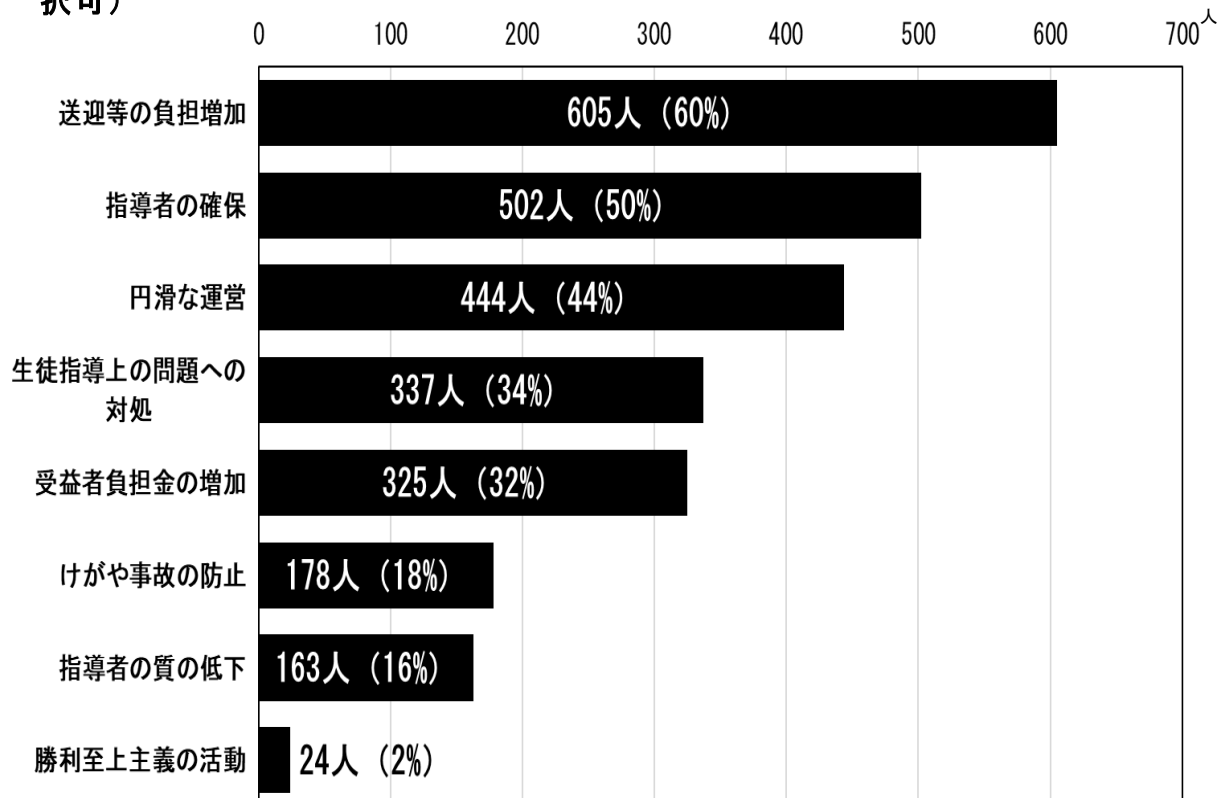
1 所属している部活動を選択してください。（中学3年生は令和6年7月に所属していた部活動）



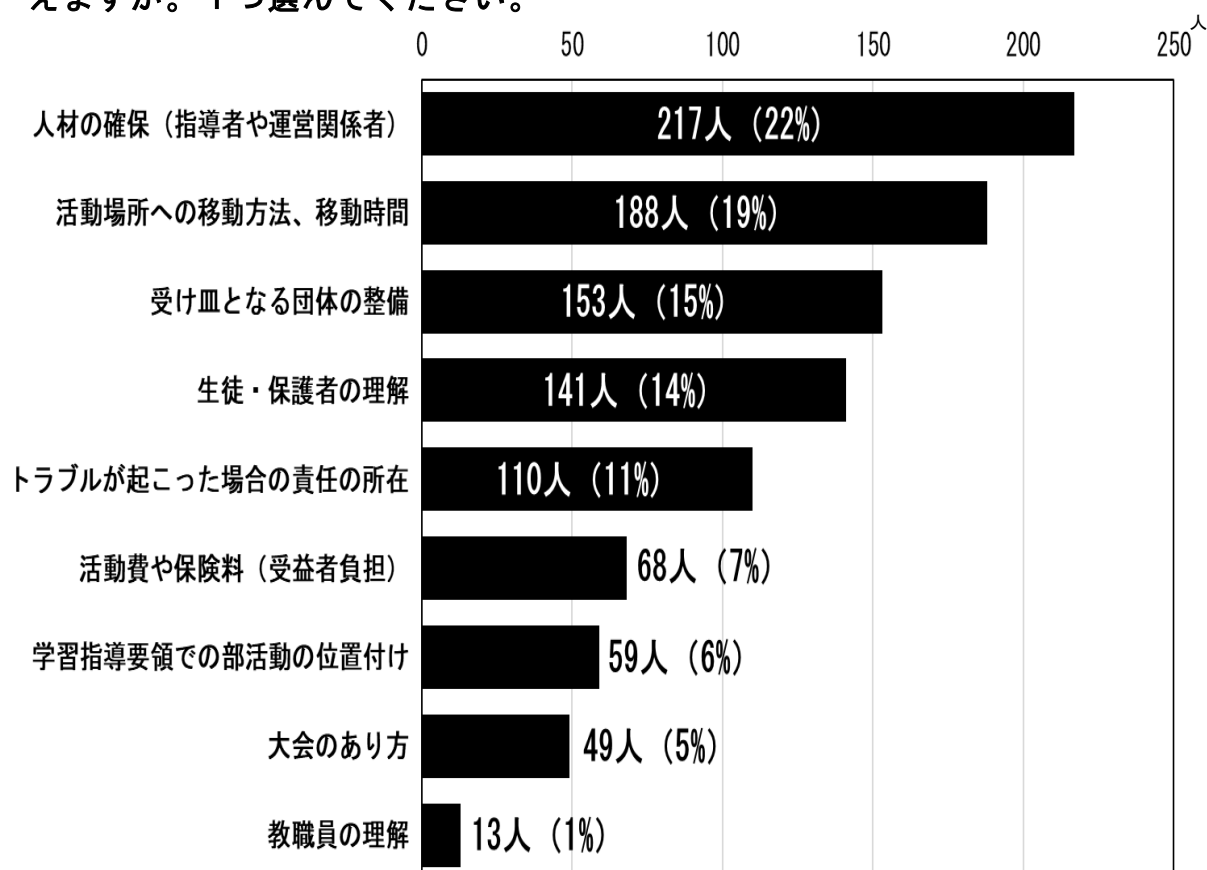
2 中学校部活動の地域展開について、可能な部活動から段階的に移行を進めることにどう思いますか。



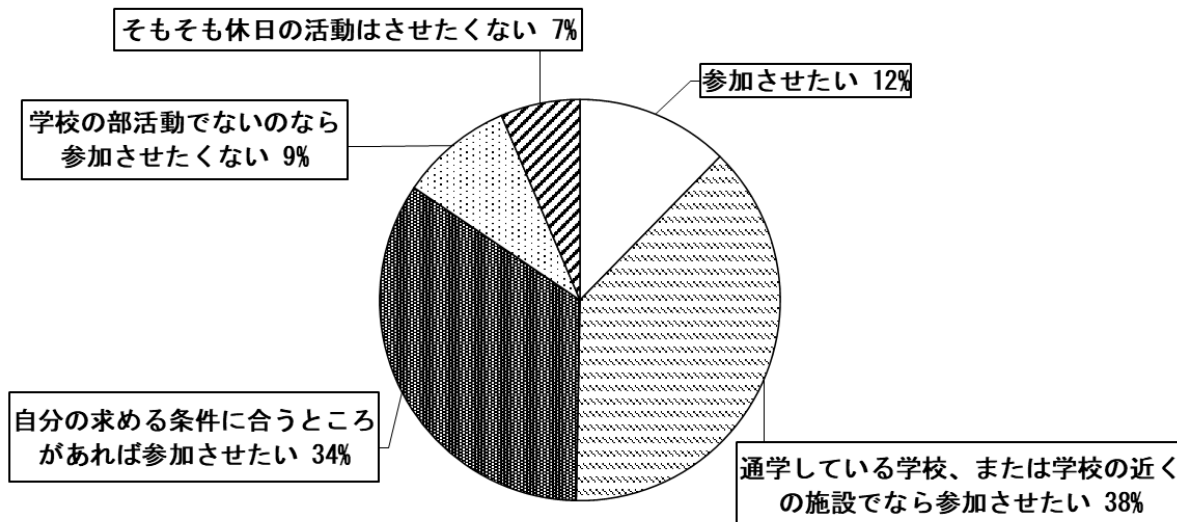
3 中学校部活動が地域展開する場合、不安に感じることは何ですか。（複数選択可）



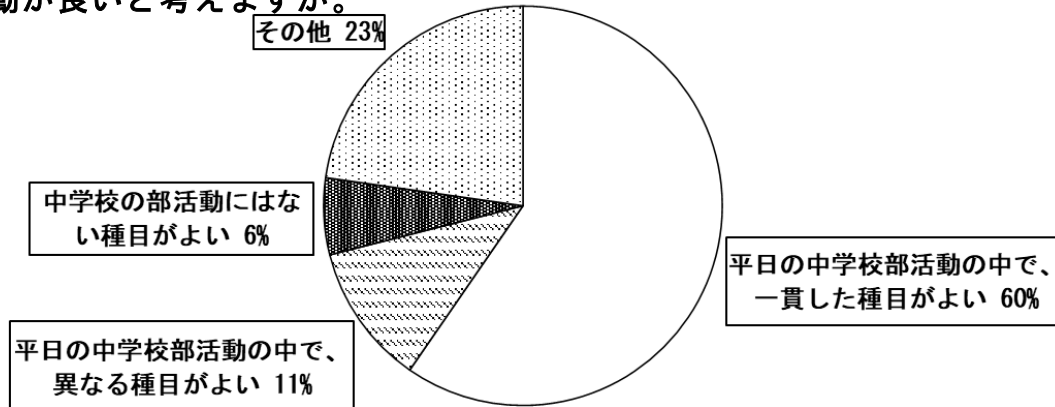
4 中学校部活動の地域展開に向けて、解決すべき最も大きな課題は何だと考えますか。1つ選んでください。



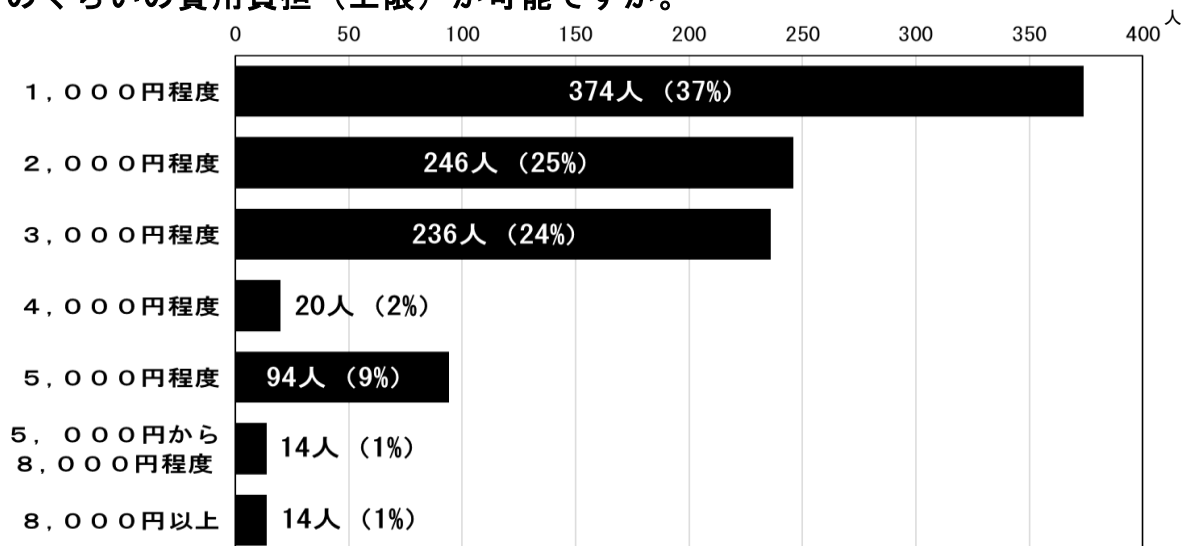
- 5 休日の部活動が学校の活動ではなく、地域で行われる活動となった場合、お子さんを参加させたいですか。1つ選んでください。



- 6 お子さんを休日の地域で行われる活動に参加させるとしたら、どのような活動が良いと考えますか。



- 7 お子さまを休日の地域で行われる活動に参加させるとしたら、月あたりのくらいの費用負担（上限）が可能ですか。



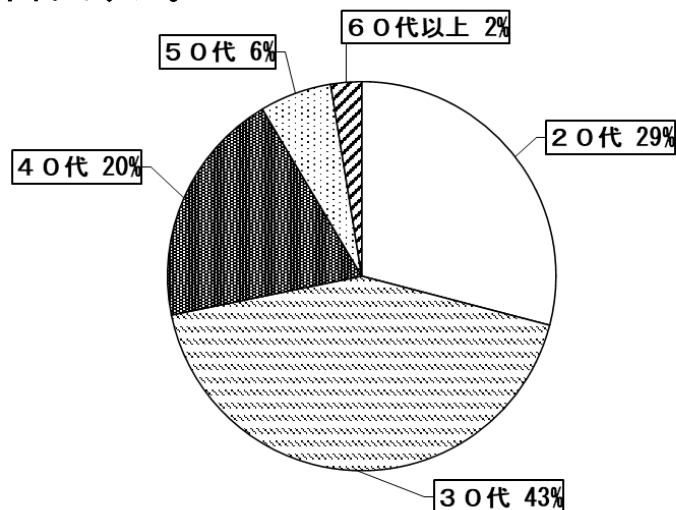
8 中学校部活動の地域展開について、ご意見があれば書いてください。

- 中学校での部活動を続けてほしい (53)
- 教員の多忙化解消は理解できるが、指導者は学校の教員を活用し対価を支払うべきである (35)
- 中学校部活動地域展開実証事業に賛成である (25)
- 中学校部活動地域展開に反対である。魅力を感じない (16)
- 地域展開での質の高い指導者、安全な環境を確保する (14)
- 教員の負担軽減に繋がることはよい (13)
- 会費を払って実証事業に参加するのは、習い事同じで理解できない (11)
- 保護者の金銭的な負担が気になる。市からの補助金を増やすとよい (11)
- 部活動はなくてもよい。活動したい子だけ地域クラブ活動に参加すればよい (10)
- 親の送迎が不必要ならよい (8)
- 家庭環境を加味した事業にすべきである (8)
- 中学校部活動地域展開の趣旨や今後の方針の説明が必要である (8)
- 色々な選択技があるとよい (7)
- 子どもが自分で通える範囲での活動が望ましい (6)
- 地域展開によって生じる不公平感をなくす (5)
- 子どもの声を聴く機会を持ってほしい (5)
- 子どものやる気の出る事業にしてほしい (5)
- 保護者の金銭的な負担が増えても仕方ない (4)
- 平日の部活動も地域の指導者が行う方が意義がある (2)

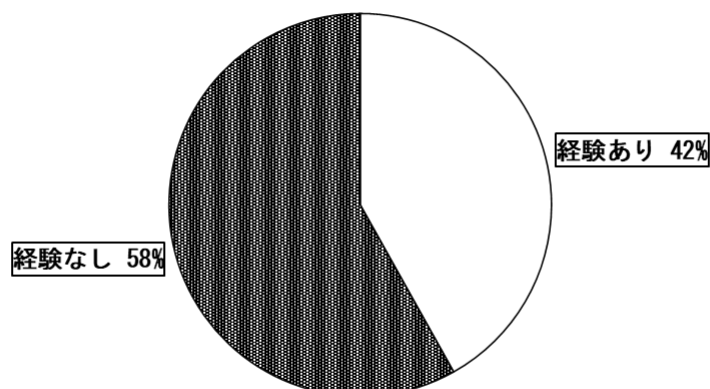
令和7年度 北名古屋市中学校部活動に関する意識アンケート結果（教員）

（R8.2実施 回答者数 117名、回答率 81.8%）

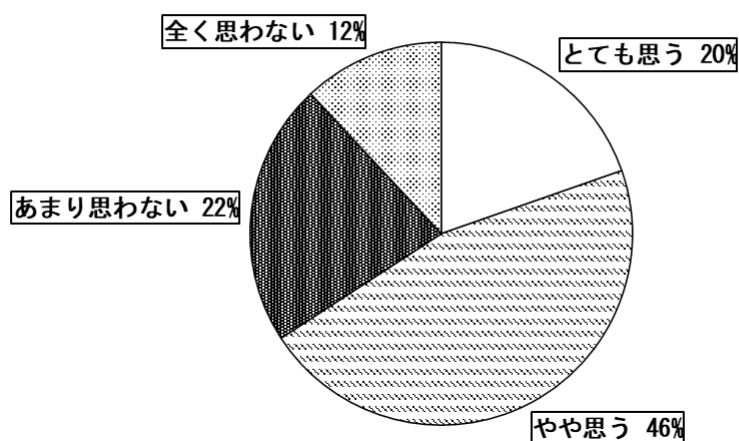
1 年齢は、何十代ですか。



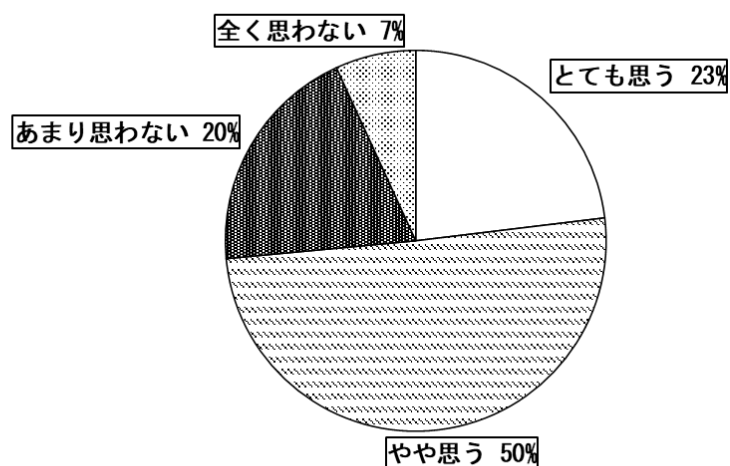
2 担当している部の分野（現在担当していない場合は、以前担当していた部）は、自身が専門的に経験したことがある種目ですか。



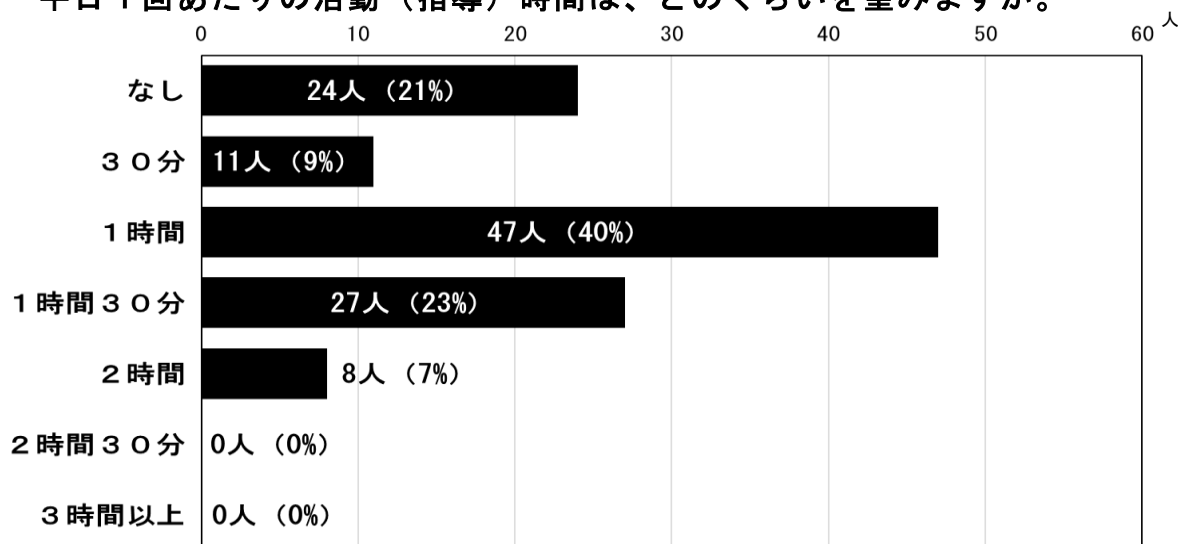
3 部活動の顧問は楽しいですか。



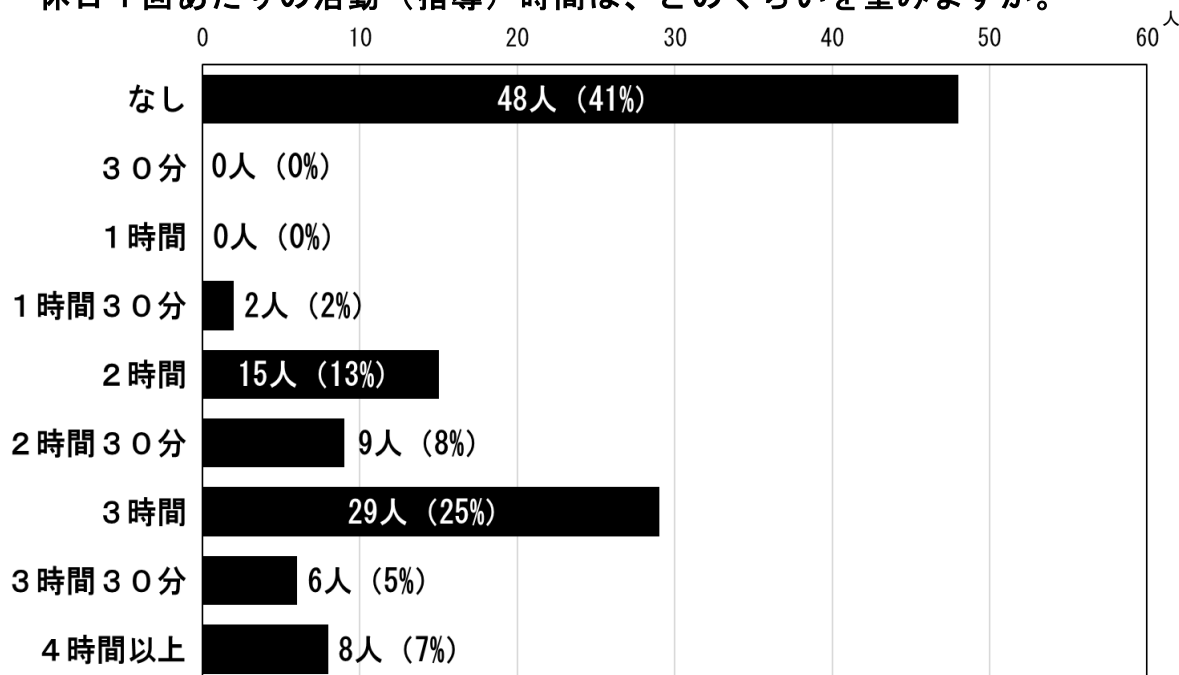
4 部活動の顧問をストレスに感じますか。



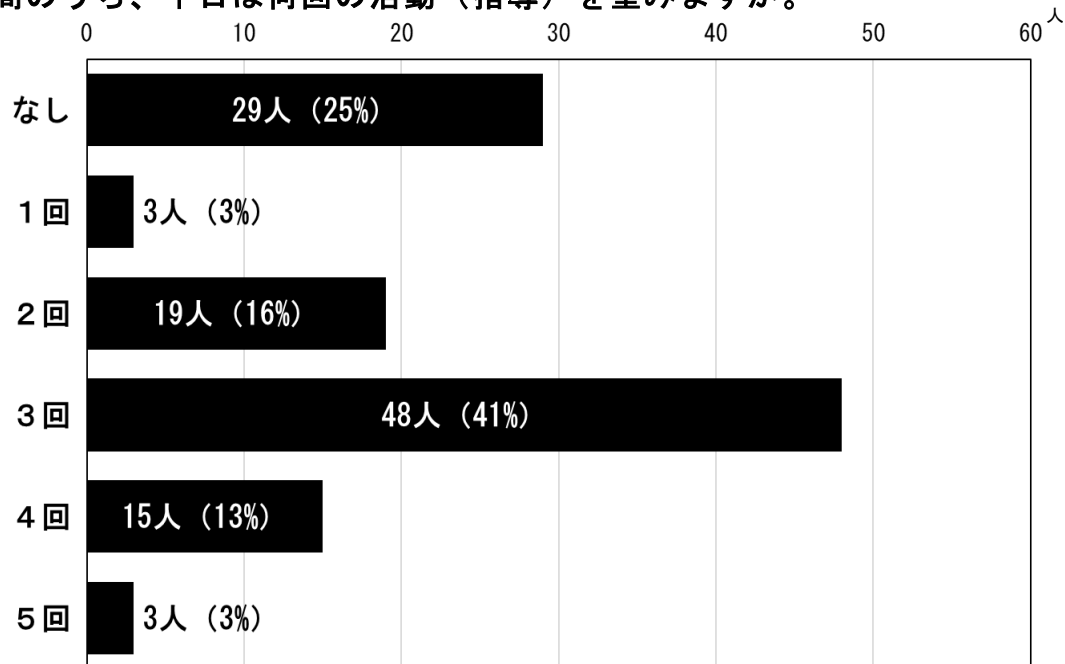
5 平日 1 回あたりの活動（指導）時間は、どのくらいを望みますか。



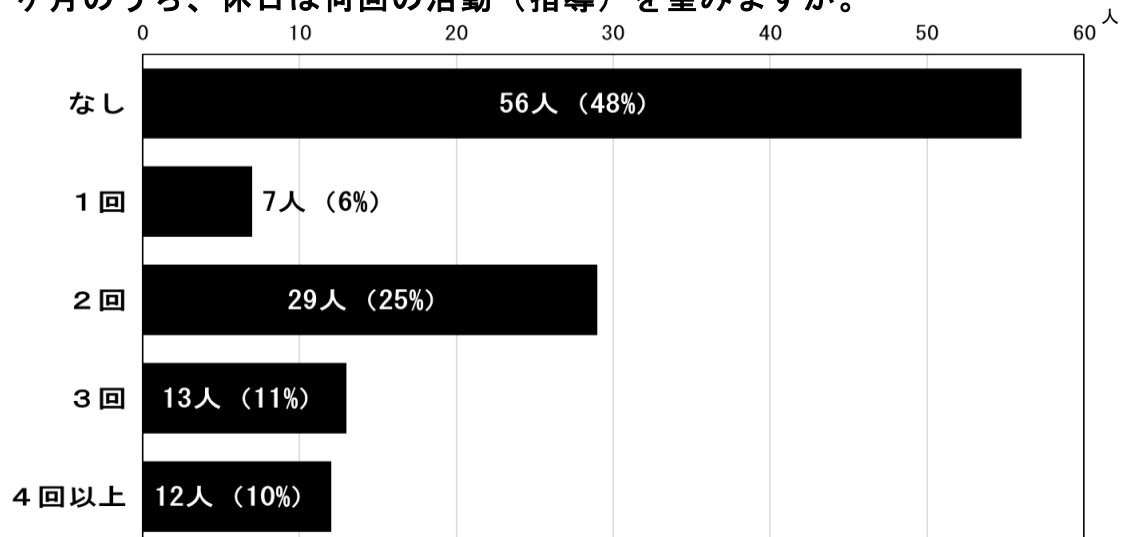
6 休日 1 回あたりの活動（指導）時間は、どのくらいを望みますか。



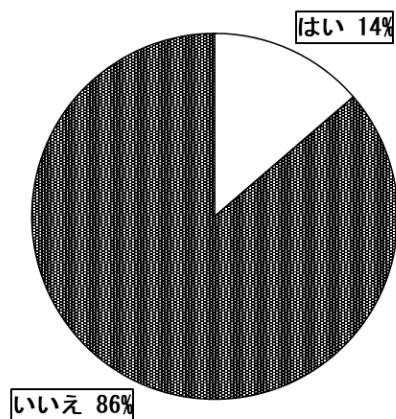
7 1週間のうち、平日は何回の活動（指導）を望みますか。



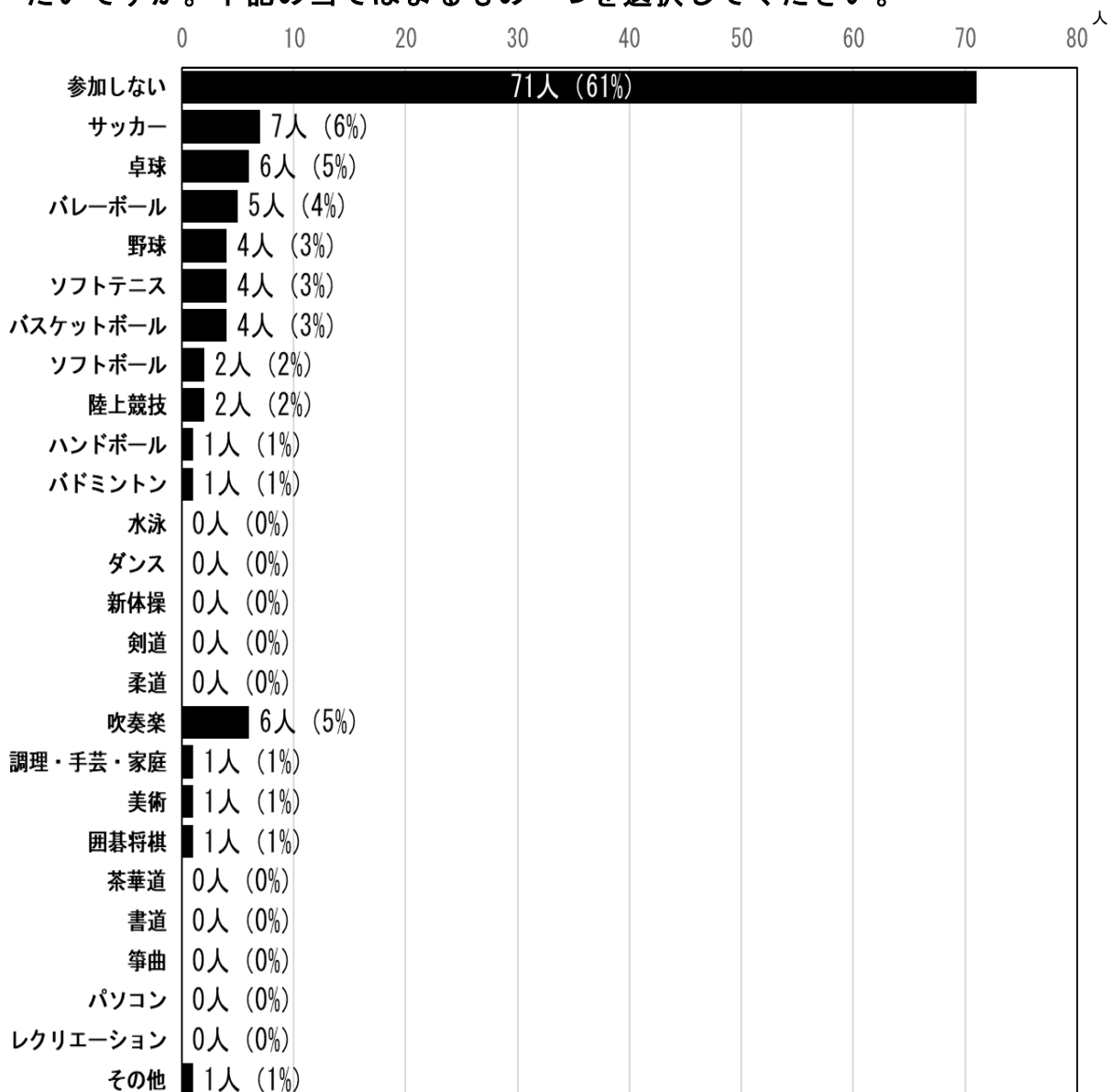
8 1ヶ月のうち、休日は何回の活動（指導）を望みますか。



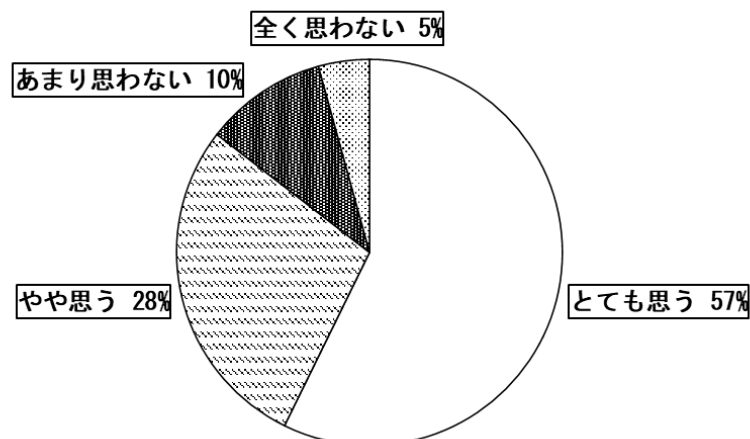
9 休日に地域クラブ活動が導入された場合、兼職兼業で地域人材として地域クラブ活動に関わりたいですか。



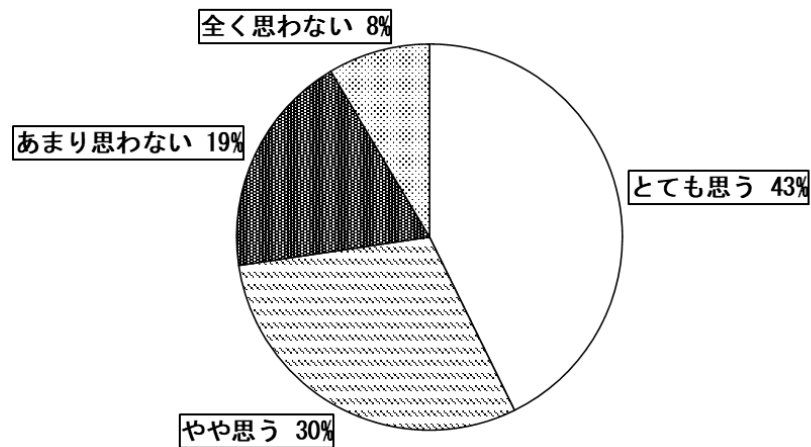
10 休日に兼職兼業で地域クラブ活動に関わる場合、どの種目・活動で携わりたいですか。下記の当てはまるもの一つを選択してください。



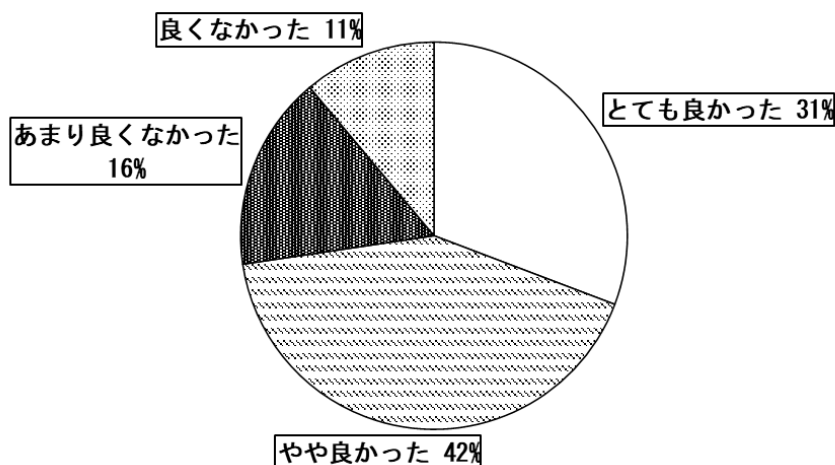
11 休日における部活動の地域展開（学校として休日の部活動は行わない）を進めた方がよいと考えますか。



12 平日における部活動の地域展開（学校として平日の部活動は行わない）を進めた方がよいと考えますか。



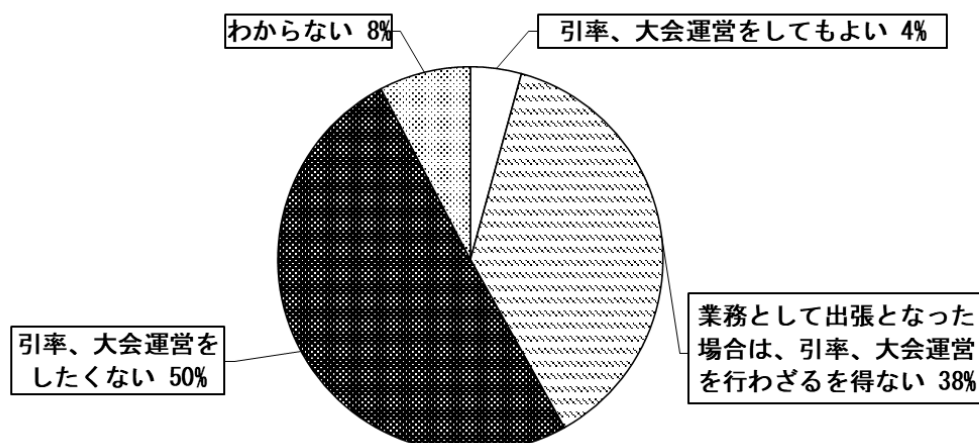
13 令和7年度より、土日の中学校部活動が月2回となりましたが、どのように思いますか。



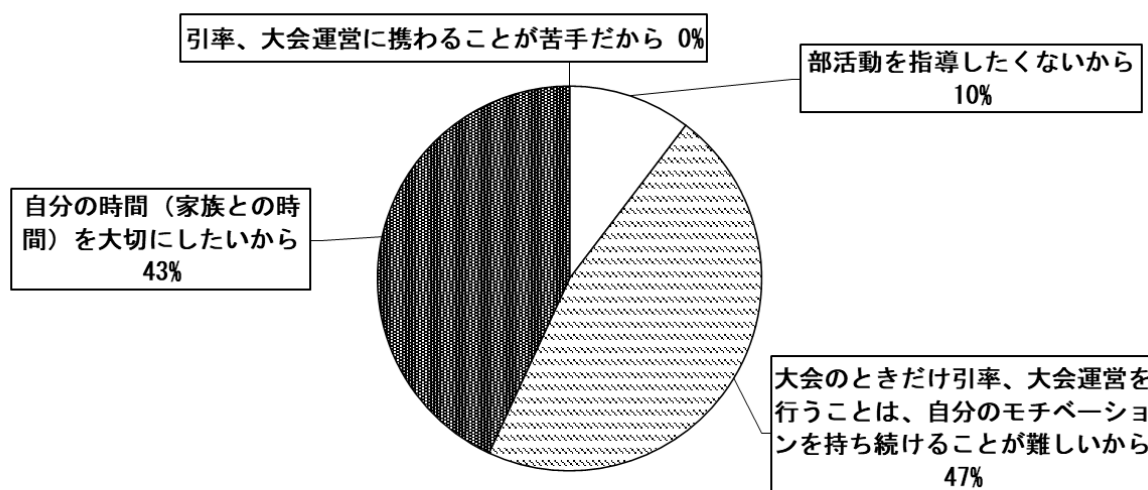
14 13で回答した理由を書いてください。

- 家族との時間、自分の時間が増えた(51)
- 業務の負担が軽減した(22)
- 生徒にとって練習量が少ない(10)
- 負担が増えた(7)
- 土日は活動なしでよい(7)
- 中途半端でやりにくかった(5)
- 他の市町との格差がでる(4)

15 土日の部活動が完全に地域に移行した場合、地区大会への生徒の引率、大会運営についてどう思いますか。



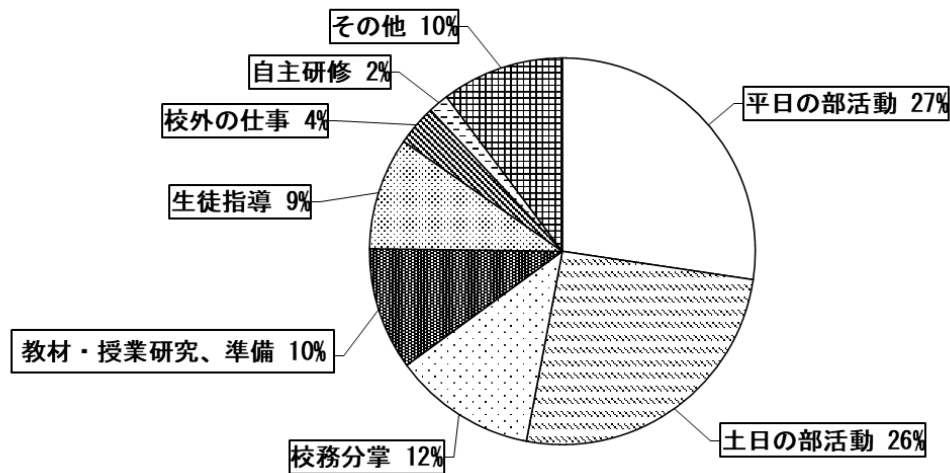
16 15で「引率、大会運営をしたくない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。



17 中学校部活動の地域展開について、ご意見があれば書いてください。

- 早急に地域展開を進めてほしい(13)
- 地域差がない地域展開にしてほしい(9)
- 教員と生徒にとって有意義なものにしてほしい(9)
- 大会運営が難しい(6)
- 兼職兼業を広げて、やりたい先生が指導できる環境を整えてほしい(6)
- 専門的な指導が必要である(1)
- 受益者負担額は、最小限の設定となるとよい(1)
- 地域活動がない部活動はどうすべきか、考えてる必要がある(1)
- 平日と休日の活動がセットで考えるべき(1)

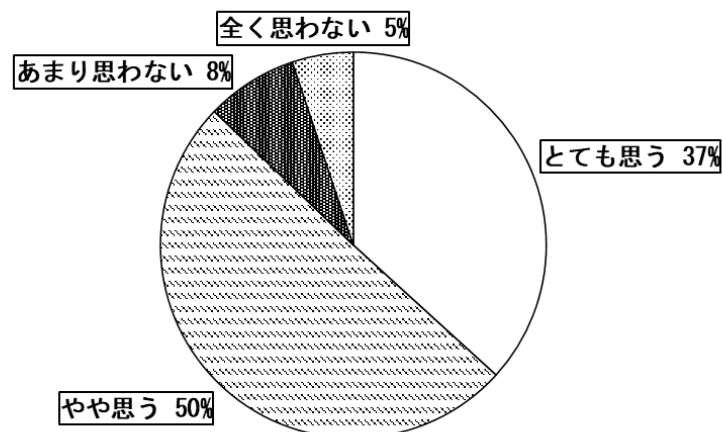
18 教員の働き方改革を進める上で、時間外勤務を少なくすることが求められています。そこで、学校の勤務で時間外勤務となる場合の大きな理由を下記の中から、1つ選らんでください。



19 18について、時間外勤務を少なくするためにご意見や改善点があれば書いてください。

- ☐ 時間外勤務時間をなくす(10)
- ☐ 部活動をなくす(9)
- ☐ 仕事の精選化(7)
- ☐ 教員を増やす(7)
- ☐ 教員が工夫すべきである(4)
- ☐ 時間外勤務手当を支給する(2)
- ☐ 保護者対応を第三者に任せたり、対応時間を設定する(2)

20 土日の中学校部活動が月2回となったり平日の中学校部活動が週3回になったりしたことは、教員の働き方改革に繋がったと思いますか。



21 20 で回答した理由を書いてください。

- 勤務時間が減り、家族との時間や自分の時間がもてるようになったから (95)
- まだ負担が多く、働き方改革に繋がっていない (17)
- 生徒の気持ちを考えるべきである (2)
- 移行期間なので仕方ないが、中途半端でやりづらい (1)
- 活動日をゼロにすべきである (1)

22 土日の中学校の部活動を完全に地域クラブに移行する時期は、いつが適当だと思いますか。

